

# 鑑賞 ①

西洋音楽は、特色ある名曲を集め、それぞれの着眼点を明確に示しました。曲の解説や、音楽史的背景を説明した「音楽史羅針盤」などから、多角的に理解を深め鑑賞します。

## 鑑賞のねらい

「何を感じ取るのか」を明確に示しています。

## 体感する鑑賞

不規則で荒々しいリズムや刺激的な不協和音について調べ、身近な楽器などで演奏してみよう

46

### 斬新なリズムと響きによる表現を感じ取ろう

## 音楽史上の大事件となった『春の祭典』

1913年にパリで行われたバレエ『春の祭典』の初演では、オーケストラがストラヴィンスキーの音楽の演奏を始めるやいなや、聴衆はその聴き慣れない音楽に対して大騒動を起こしました。

『春の祭典』の音楽は、それまでの音楽ではほとんどみられない新しい表現方法を用いていて、それはまた20世紀以降の音楽にみられるようになる特徴の一つでもありました。ここでは、『春の祭典』の第1部から『春の兆し—乙女たちの踊り』の部分を聴き、この曲の斬新さや魅力を味わいましょう。



バレエ『春の祭典』の初演の復活上演(マリインスキー1913年5月29日に初演された『春の祭典』は、この最初のシーズンを飾る公演だった。ちょうど100年で初演時の振り付けや舞台美術、衣装などを再現した)

初演の行われたシャンゼリゼ劇場での復活公演の写真を掲載！

バレエ音楽 春の祭典 から 春の兆し—乙女たちの踊り

ストラヴィンスキー

### ●リズムと和音を調べてみよう

初演を聴いた人々に鮮烈な印象を与えた『春の祭典』の音楽は、実際『春の兆し—乙女たちの踊り』の最初の部分を例に、リズムと和音の特

Tempo giusto ♩=50

### ●リズムの特徴を調べてみよう

- ・冒頭の8小節では、弦楽器群が不協和音の荒々しい響きで拍を刻み、原始的な雰囲気をつくり出しています。拍には、不規則にアクセントがつけられています。
- ・8本のホルンは、弦楽器群と同じ和音を、アクセントのタイミングに合わせて鋭く吹奏するように演奏します。

### ◆リズムを打ってみよう

- ・4分の2拍子を意識しながら、①(ホルンのリズム)と②(弦楽器群)
- ・2つのグループに分かれて打ったり、①と②のリズムを1人で打

### ●使われている和音とその組み合わせを調べてみよう

この部分は、下に示した2つの和音

### 音の重なり

半音のぶつかりが不協和な響きを生み出します。

### ◆演奏してみよう

いちばん上の譜例の4つの段を、キーボードやピアノなどで演奏し

西洋音楽の鑑賞

### ●『春の祭典』の初演の批評を読んで、当時の人々の反応について考えてみよう

大騒動となった初演では、ストラヴィンスキーの音楽の刺激的な表現に対して嫌悪感を示す声と、反対にその表現に賛同する人々の声とが飛び交い、しまいはつかみ合いになって人が出るほどだったといわれています。音楽史上まれに見る大スキャンダルの様子は、当時のフランスの新聞批評などからうかがい知ることが出来ます。

「……リズムがすばらしい活気と驚くべき多様性を示しているとしても、旋律線はいかににも頼りない。和音にも特別な情緒はなく、楽想の発展や配置にも見るべきところが無い。要するに、この芸術作品の根本はひどく貧弱で、まったく原始的で単純である。だからこそ、その色あせた姿を際立たせたものに見せるために、乱暴で刺激的な外見的装飾を施しているのだ」

【ルフィガロ】1913年5月31日付

「……イーゴリ・ストラヴィンスキー氏の尋常ならざる音楽については、確信もてないかもしれないが、肯定すべきであろう。理かたずなる誇張への明らかなる偏見がみられ、ときには極めて醜態である。少なくとも我々1913年の人間には、そう感じられる。[中略]きんだ響きの執拗な連続の中には、注目すべき旋律的輪郭が浮かび上がり、魅力的なリズムの生命が躍る。色鮮やかな和音の花々が咲き持っているというのに、我々にはそれが理解できないのだ」

【ルヴランセーズドミュージック誌】1913年6月7月号



上の批評を参考に、『春の祭典』のリズムや響きや当時の人々に対する印象を自分の考えを記述するスペース

自分の考えを記述するスペース

イーゴリ・ストラヴィンスキー Igor Stravinsky (1882—1971)は、ロシアの作曲家、バレエのディレクターから発展させた3つのバレエ音楽(『春の祭典』)によって『リデ』でセンセーショナルな注目を集め、現代の音楽となった。特に『春の祭典』は、音楽に対する原始主義の代表である。彼の作風は時代によって異なり、さまざまなスタイルの音楽を創りだした。1939年にアメリカに亡命し、1959年に没した。1946年文壇院賞を受賞した。その後、3度の『祭典』の再演のために『クワイエ』を聴いて絶賛し、批評が絶賛的に評価されるきっかけとなった。



## 作曲者に関する情報

鑑賞に必要な作者の情報を簡潔に示しています。

## 楽曲に関する情報

作品への興味・関心がより深まる情報を示しています。

がやってくる。



バレエ『春の祭典』第2部から

### ●『春の祭典』初演時のバレエの様子を見てみよう

初演が大スキャンダルとなったのは、音楽の斬新さだけでなく、バレエの原始的な振り付けにも原因がありました。それまでのバレエの優雅な舞踏といったイメージからかけ離れた、粗野でどこにもない動作による『春の祭典』の踊りが、当時の人々の目にもとくに映ったのか、想像してみましょう。



【コメディア】1913年5月31日付に掲載された『春の祭典』初演時のバレエダンサーの写真

足を内股にしたり、首や腕を不自然に曲げたりして、自ら自らする異様な舞踏のポーズとは違っているね。

西洋音楽の鑑賞

初演のスキャンダルは、音楽以外にも原因があったことを、当時の新聞に掲載された写真とともに伝えます。





